

報告事項キ

令和5年度発達障がいと診断された幼児・児童・生徒の在籍者数等調査の結果について

令和5年度発達障がいと診断された幼児・児童・生徒の在籍者数等調査の結果について、別紙のとおり報告します。

令和5年10月18日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

(別紙)

## 令和5年度発達障がいと診断された幼児・児童・生徒の在籍者数等調査の結果について

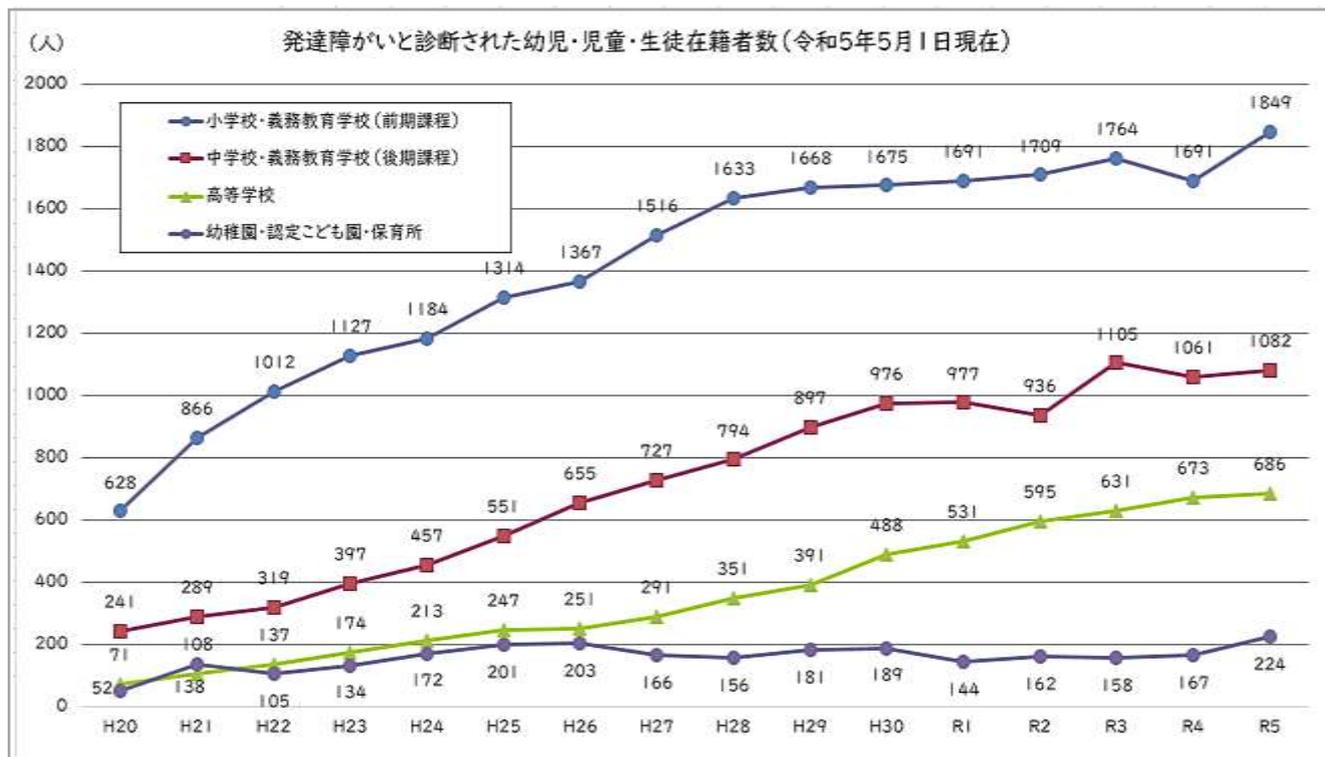
令和5年10月18日

特別支援教育課

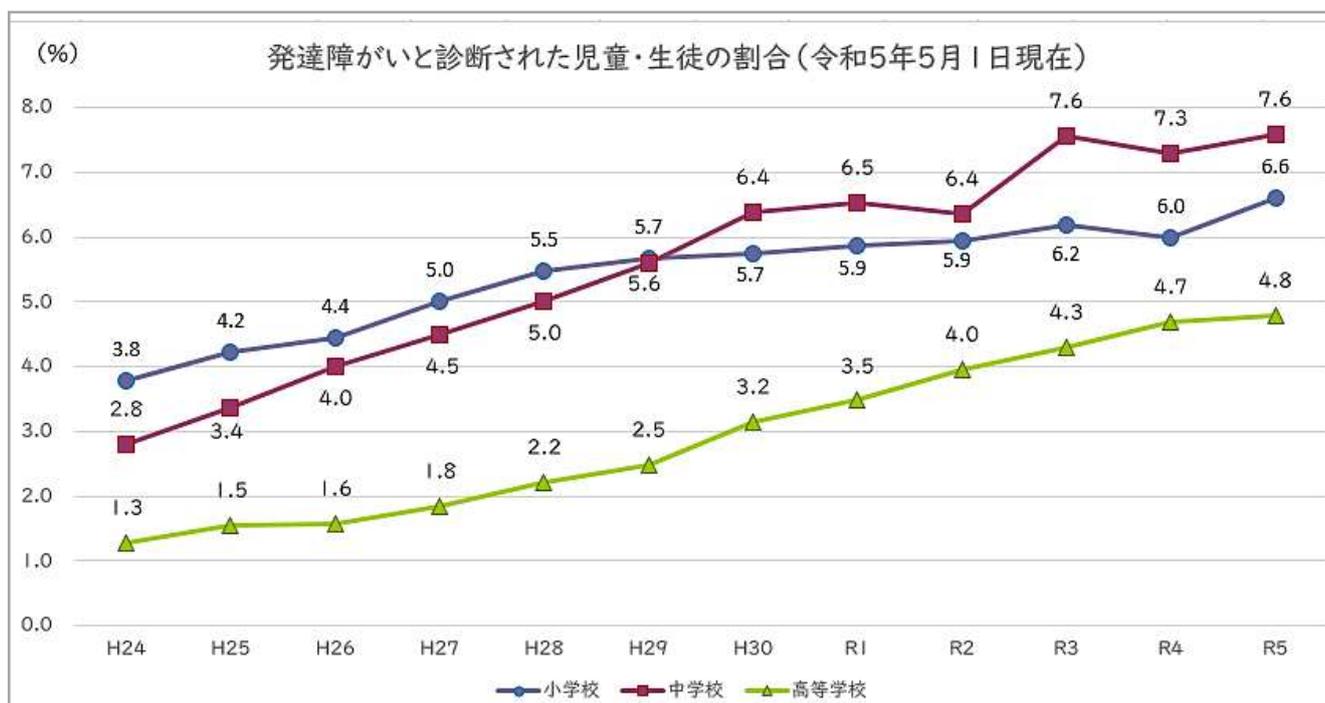
### <調査及び結果>

「発達障がいと診断された幼児・児童・生徒の在籍者数等調査」(令和5年5月1日現在)

- ・調査日 令和5年8月29日から9月27日
- ・調査内容 県内の幼稚園・認定こども園・保育所、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校が把握している発達障がいと診断された幼児・児童・生徒在籍者数。



※平成21年度より広汎性発達障がいの診断を受けた幼児・児童・生徒を含めている。



<現状>

- ・各校種において、発達障がいと診断された幼児・児童・生徒数及びその割合は昨年度に比べ増加しており、発達障がいについて広く認知され、気づきから医療につながるケースが増加してきていると推測される。
- ・特に高等学校においては、発達障がいと診断された生徒の在籍者数及びその割合は増加が続いており、特別支援教育に対する取組や進学・就職の際の合理的配慮の必要性が浸透しつつあることで、診断をオープンにする生徒・保護者が増加していると推測される。
- ・中学校・義務教育学校（後期課程）において、発達障がいと診断された生徒のうち通級による指導を受けている生徒数及びその割合は昨年度に比べ増加している。
- ・小学校・義務教育学校（前期課程）及び中学校・義務教育学校（後期課程）において、発達障がいと診断された児童・生徒のうち、通常の学級に在籍する児童・生徒の割合は減少し、特別支援学級に在籍する児童・生徒の割合が年々増加している。
- ・児童・生徒一人一人の教育的ニーズに応じた学びの場を検討するにあたって、通級による指導を受けながら通常の学級で学ぶのか、特別支援学級で学ぶのか、学校内の検討会や市町村（学校組合）教育委員会の教育支援委員会等において十分に検討し、より一層の適切な就学支援となるよう、学校や市町村（学校組合）教育委員会へ今後も引き続き働きかけを行う。
- ・発達障がいと診断される幼児・児童・生徒数は増加傾向であることから、在籍する学級に限らず、通常の学級の担任、特別支援学級の担任をはじめ、すべての教職員が発達障がいに関する指導・支援の専門性を高めていくことが求められる。

【全児童・生徒数に対する割合（令和5年5月1日現在）】

（単位：人）

	全児童生徒数（人）	診断のある児童生徒数（人）	割合（％）
全 県	56,345 (57,160)	3,617 (3,425)	6.4％ (6.0％)
小学校・義務教育学校（前期課程）	27,901 (28,248)	1,849 (1,691)	6.6％ (6.0％)
中学校・義務教育学校（後期課程）	14,211 (14,473)	1,082 (1,061)	7.6％ (7.3％)
高等学校	14,233 (14,439)	686 (673)	4.8％ (4.7％)

※下段（ ）は令和4年度の数値

【発達障がいと診断された児童・生徒の教育の場について】

<小学校・義務教育学校（前期課程）>

（単位：人）

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
診断のある児童数	1,675	1,691	1,709	1,764	1,691	1,849
通常の学級に在籍する児童	985 (58.8%)	955 (56.5%)	848 (49.6%)	842 (47.7%)	714 (42.2%)	720 (38.9%)
上記のうち通級による指導を受けている児童 ※母数は通常の学級	260 ※26.4%	247 ※25.9%	217 ※25.6%	206 ※24.5%	166 ※23.2%	156 ※21.7%
特別支援学級に在籍する児童	690 (41.2%)	736 (43.5%)	861 (50.4%)	922 (52.3%)	977 (57.8%)	1,129 (61.1%)

（ ）は診断のある児童に占める割合

<中学校・義務教育学校（後期課程）>

（単位：人）

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
診断のある生徒数	976	977	936	1,105	1,061	1,082
通常の学級に在籍する生徒	608 (62.3%)	591 (60.5%)	536 (57.3%)	621 (56.2%)	585 (55.1%)	570 (52.7%)
上記のうち通級による指導を受けている生徒 ※母数は通常の学級	102 ※16.8%	97 ※16.4%	91 ※17.0%	82 ※13.2%	59 ※10.1%	76 ※13.3%
特別支援学級に在籍する生徒	368 (37.7%)	386 (39.5%)	400 (42.7%)	484 (43.8%)	476 (44.9%)	512 (47.3%)

（ ）は診断のある生徒に占める割合